

□要請番号 (JL63622B23)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ルワンダ	G131 空手道		個別	新規 2代目	2年	・2023/2・2023/3・ 2023/4・2024/1

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

ルワンダ空手連盟

3) 任地 (キガリ市) JICA事務所の所在地 (キガリ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩で約0.0時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先のルワンダ空手連盟は、2008年に設立された団体で、2010年に政府によって認可された。同連盟はキガリ市内に約50の空手教室を有しており、それぞれ10~30名程の子供たち(5~12歳が中心)が空手を習っている。これまで国際大会にナショナルチームの選手を送り出しており、2019年にはホスト国として、国際競技大会(アフリカンチャンピオンカップ)を開催した。現会長は、かつて日本の空手家の指導を受けた経験があり、隊員の活動にも非常に協力的である。現在、コロナ禍ということを配慮し、出来る限り室内での指導を避け、屋外にマットを敷いて空手教室を実施している。なお、生徒(選手)間の距離を保ち、形(型)を中心とした内容とし、組手は行っていない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

ルワンダでは多くの人に空手は認知されているものの、指導者不足も影響して競技人口はまだ少なく、世界で戦うには選手の技術レベルは不十分である。空手人口の増加に向けて、効果的な普及活動が必要であることから隊員の要請があり、2016年1月から2年間、空手隊員が派遣された。同隊員による空手教室の開催、地方での巡回指導、世界大会(2016年10月、オーストリア)へのナショナルチーム・コーチとしての同行などの活動が大変評価され、引き続き、後任隊員の要請がなされた。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- キガリ市内の空手教室において、主に初心者に対して指導を行う。
- ナショナルチームの選手に技術指導を行う。
- 地方(近隣郡)に赴き、空手の指導を行う。
- 空手の普及活動として、小中学校等で空手の紹介を行う。
- 競技大会やイベントでの運営サポートを行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

マット、ヘッドギア、拳サポーター、胴プロテクター、脛あて、得点板

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚

- ルワンダ空手連盟会長: 男性、60代(4段)
- ヘッドコーチ: 男性、40代(4段)

活動対象者:

- ・各空手教室生徒10～30名(男女、5～30歳)
- ・ナショナルチーム選手40名(男女、18～30歳、有段者)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(空手道三段)

[性別]：() 備考：

[学歴]：(大卒) 備考：査証取得に必要なため

[経験]：(指導経験) 3年以上 備考：技術指導を行うため
(競技経験) 5年以上 備考：技術指導を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(サバナ気候) 気温：(13～30°C位)

[電気]：(不安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(不安定)

【特記事項】

段位(もしくは指導経験)を証明する英文の証明書の提出が必要

【類似職種】